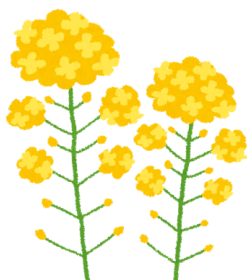


傳設計ニュースレター

CONTENTS

- ◆今、伝えたいこと
～社員を大事に、
仲間を大事に～
- ◆『物流施設』計画のポイント
- ◆民泊物件の
お問合せ多数！
- ◆木造住宅の耐震診断
- ◆協力会社・若手社員との
交流会
- ◆協力会社様による
勉強会開催
- ◆新卒採用活動開始
- ◆社員名鑑
- ◆会社情報



今、伝えたいこと ～社員を大事に、仲間を大事に～

新しい年度を迎え、弊社には3名の新入社員が入社しました。フレッシュな社員を迎え、他の社員もまた、気が引き締まっていることだろうと思います。

さて、前回のニュースレターで、私から社員に「自分の働き方を考えて提案するように」と提言したとお話しさせていただきました。今回はその続きとも言えます。

そもそも私は大学院修了後、一旦、教職の道に進みました。設計事務所で働きたかったものの、当時の徒弟的な考え方(技術は教えてもらうものではなく、自らが先輩の技術を見て学ぶべきとするもの)を受け入れられず、逃げていたのです。教鞭を執っている最中、大学から助手として戻ってきてほしいとオファーがあり、戻りましたが、その間も設計事務所で働く夢を諦めきれず、結局は福岡の設計事務所に入社しました。その時28歳。そこで設計者としての仕事の仕方、考え方を学び、徒弟制度を目の当たりにし、私は私なりに設計事務所のあり方を考えました。「社員を大事にして、協力してくれる仲間(外注先、取引先)を大事にすれば、お客様を大事にすることになる」と考え、自分がいいと信じる設計事務所を創りたいと、資格も持たないままに独立しました。



★ある会合にて★

あれから26年、弊社はグループ会社を含め40名ほどの組織になりました。今では、新卒で入社した社員、転職してきた社員、グループ会社になった社員など、さまざまな考え方を持つ社員が在籍しています。一番最初に入社した会社が違っても、文化が違うのか、基本的な考え方の統一に苦労をしますが、それは当然のことだろうと思っています。そんな中、社員が転職、独立、結婚と今後の相談をしてくれます。正直なところ「このタイミング？」と思うこともありますが、本人が自ら道を切り開こうとするならば、それは快く送り出したいのです。それが「相手を大事にすること」だと思いますし、かつての私も自らの道を切り開いてきた一人だからです。

社員の退職は痛手ですが、弊社には協力してくれる仲間がいますので、仕事の質が下がることはありませんし、受注量が減ることもありません。「社員を大事にして、協力してくれる仲間を大事にすれば、お客様を大事にすることになる」、あの時の私の考えは間違っていなかった、そう思います。(代表取締役 岩本茂美)

岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

私の中で、この季節恒例となっている、「微笑みの国」はタイ・バンコクへ旅行に行っていました。職業柄、異国の地に建つ建築物は見入ってしまいますが、それよりお奨め(?)なのが、やはり壮大なゴルフ場でのゴルフでしょう！



★気温35℃★

★『物流施設』計画のポイント★

現在弊社で数件計画が進行しております『物流施設』について、建築的側面から大きく2つのポイントについてお話をさせていただきます。

■インターネット通販の拡大や企業のグローバル化により、物流ニーズは激しく変化しており、立地優位性に加え、物流施設の大型化や多機能化が一層求められています。こうした現状を踏まえて、物流施設にどんな機能や性能を持たせれば良いのか、取扱う商品の性格や要求さ

れる衛生レベル、温度管理等について施主様と打合せを重ねて、その使い方を十分に理解して設計を行うことが重要となります。

■物流施設と工場とを比較した場合に建築コストへ大きく関わる違いがあります。用途が工場(生産施設)となる場合、敷地や建坪が一定規模以上となると『工場立地法』なる法律が関わってきます。これは工場の建設が周辺地域の環境との調和を図りつつ、適正に行われることを目的として立法されました。(写真のように緑化整備された工場がよくあるのはこの法律の為です。)もちろん世間一般の風向きとしては省エネ、環境配慮が推進されていますが、建築主・経営者としては緑化やそのメンテナンスにコストを割くことは厳しいことでしょう。一方で、物流施設には同法律は適用されませんので、工場と物流拠点を別敷地で計画

することが可能な場合には、そのようにした方がコスト的なメリットは大きいといえそうです。(川西)

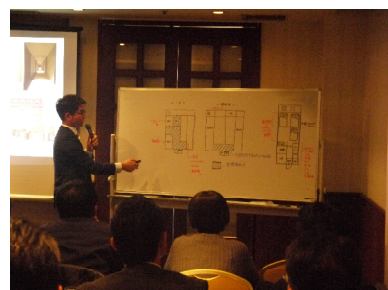


★緑化整備された工場★



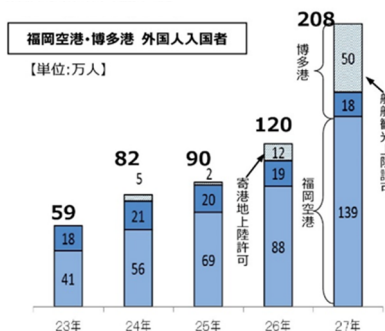
★大型物流施設★

いま、話題の民泊問題について、先日、弊社は船井総合研究所様と共催でセミナーを行いました。旅館業法、民泊新法など法改正が進むなかで、様々な情報が飛び交っており慎重な対応が必要となっています。



★民泊セミナーの様子★

福岡市においても、近年、外国人旅行客の急激な増加により、宿泊施設不足の問題が深刻化しており、宿泊施設の建設が急ピッチで進められています。そんな中、福岡市では旅



★福岡市の外国人入国者数★

館業法施行令が改正され、昨年12月から施行されました。弊社にも、既存マンションの簡易宿所への用途変更などのお問合せを多く頂いております。本改正により規制が緩和され、民泊マンションの普及が期待されます。その反面、戸建て住宅の民泊化へのハードルが上がってしまうなど、不具合が出ている状況であ

り、今後の動向に注意が必要です。弊社では、お客様にマンション仕様の簡易宿所をご提案しております。将来的に、旅客需要が低下したとき、共同住宅への用途変更がスムーズに出来るような計画です。2020年のオリンピックの影響や、それ以降の時代の流れに対応できるように、先を見据えた計画を提案できるように日々、精進していきたいと思っております。(深堀)



★マンション仕様の簡易宿所★

★民泊物件のお問合せ多数！★

★木造住宅の耐震診断★

昨年4月に起きた熊本地震を契機に住宅の耐震化の重要性が再認識されています。現在熊本市での需要が多く、私たちは福岡から派遣という形で協力いたしました。

耐震診断をするにあたり、重要なのは現場調査です。調査の精度が診断の正確さを左右するとも言えます。調査では、図面と実状の整合や劣化状況の確認などを行っています。長年住んでいても屋根裏や床下は見ただけでは見えないと言われる方もいらっしゃると思いますが、建物の健康状態がよ

くわかるのがこの部分です。この情報を持ち帰り、診断をして結果報告という流れになります。



★床下の様子★



★小屋組みの様子★

とされています。今回、熊本で地震を経験した建物を目の当たりにして、生活は出来るけれど安心して暮らせない様子を見ると、改めて耐震診断の重要性を感じました。まずは建物の健康状態を知ること、そして建物の耐震性能を知ることが安全への第一歩ではないでしょうか。日本は地震大国ではありますが、少しでも安心して暮らせるよう住を担う専門職として支援できればと思います。(山口)

ただ、耐震診断は「地震が発生する前に行って、必要があれば補強して地震に備える」というのが本来の目的です。昭和56年の建築基準法大改正により木造住宅においては壁量規定の見直しが行われ、阪神淡路大震災においても新耐震基準による建物は被害が少なかった



★懇親会の様子★

話してできる大変よい機会であったと感じています。次回の若手の会の詳細は未定ですが、今後回数を重ね、この会を通して、より多くの方と交流を深めたいと考えております。なお、肝心のボウリング大会では、傳設計社員はあまりいい成績を残せませんでしたので、次回こそリベンジさせていただきます。この度ご参加いただきました方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。(古賀(将))

先日、日頃からお世話になっている協力会社の方々との交流会を行いました。ただの交流会ではなく、「若手の会」と称し、傳設計と協力会社の若手社員同士の結束を目的としたものです。第1回目の参加者を若手の方という条件のもとで募集し、13社27名の方にご参加いただきました。弊社からは10名の若手社員が参加し、ボウリング大会を行ったのち



★ボウリング大会の様子★

に、お酒を交えた懇親会を行いました。年に数回、協力会社の方と懇親会をさせていただく機会がございますが、若手が中心の集まりは今までになかったため、他社の近い年齢の方々とお話することが新鮮であり、会話の内容に共感を持てるものが多くありました。弊社は新卒採用を積極的に行っていることもあり、若手社員が多い会社なので、普段お仕事で一緒しない職種の方とお



★ボウリング大会優勝チームの表彰式★

★協力会社・若手社員との交流会★

NEW&HOT TOPIX

傳設計 設計業務

★協力会社様による勉強会開催★

弊社では毎年、お世話になっている協力会社さんをお願いをして、勉強会を開催しています。建物が建つためには、弊社のような設計事務所だけではなく、杭屋さん、防水屋さん、家具屋さん、サッシ屋さんなど、いろいろな会社さんのご協力、ご教授が必要になるため、各会社さんの業務内容や新製品、工法などをしっかり学んで、設計に繋げようという主旨です。今年で3回目。弊社の社員が比較的参加しやすい土曜日での開催でしたが、お休み返上で勉強会をしていただき、とてもありがたく感じました。

今年は、「ショールームにお連れしたい」と言ってくださった会社さんがあったり、1コマ30分のところを、「2コマお願いしたい」と言ってくださる会社さんがあったりと、素敵オファーが続々と届きました！ 弊社の社員には、その気持ちにお応えして、協力会社さんに適宜ご相談して、設計に繋げてほしいと思います。(古屋)



★勉強会の様子1★



★勉強会の様子2★

社員名鑑 vol.22



氏名:石戸谷光洋

社歴:3年

所属:設計1部

主な業務:意匠設計

趣味:野球、アクアリウム

野球は観るのも、プレーするのも両方OKです。好きな球団はありますが、ここ福岡の人を敵に回したくないので伏せておきます。

ほんの一ヶ月ほど前に、担当した民間物件が竣工しました。民間物件の担当は初めてでしたので、右往左往し、上司、先輩にはご迷惑をお掛けしましたが、無事竣工を迎えることができ、ほっとしました。時には、夜遅くまで作業をし、大変でしたが、お引渡の際のオーナー様の顔を見たら、これまでの苦勞が一気にどこか遠くに消えていきました。「ああ、この瞬間の為にこれまで苦勞してきたのか」と痛感しました。今回の経験を次回以降に活かし、またあの瞬間を迎えられるよう励みたいと思います。

また、建築士等の資格取得のための勉強もしており、今年合格できるよう、仕事同様に頑張りたいと思います。

★新卒採用活動開始★

傳設計では、今年も3月から新卒採用を行っております。弊社では毎年継続して新卒採用を行っており、今年も4月に3名の新卒の社員が入社します。ちょうどこのニュースレターがお手元に届くころ、弊社では入社式、それから新入社員研修が始まっているところかと思えます。

昨年、一昨年…と入社した社員たちは先輩となり、ベテラン社員からはもちろんのこと、新卒入社の社員には、さまざまなことを吸収して行ってほしいと思います。いろんな方向に可能性を持った若い人たちがそれぞれ成長していくことで、さまざまなことに挑戦していける会社に成長していくと考えています。新卒の若い人の力に大きく期待して、弊社では今後も新卒採用を行っていきます。

今後の会社説明会は、4月8日(土)に行います。詳細やその後の予定につきましては、弊社HPもしくはリクナビ2018をご参照ください。お気軽にお問合せください。(澤田)



★会社説明会の様子★



★某大学での合同説明会★

◆ 編集後記 / / 傳設計・ニュースレターの担当になって5年弱…。私事ではございますが、しばらくお休みをいただくことになりました。ニュースレターを通じて、皆様方と接点を持ち、情報を共有できましたことをうれしく、また励みに感じておりました。これからも、傳設計・ニュースレターは皆様のお役に立てる情報、興味を持っていただける情報を発信してまいります。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。/ 古屋



「想い・安全・未来をカタチに」

株式会社 傳設計

DEN ARCH. & ENG. OFFICE

<本社>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-1-15

TEL:092-672-8538 FAX:092-672-8559

<サテライトオフィス>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-12-41 302

TEL:092-692-4555 FAX:092-672-8559

